

Problem B – B問題

問題: kioa341

テスト: shirokurostone

問題

- 問題難易度が順に与えられるときに、各自、担当者にならないような**最小の作業時間を申請**
 - (作業時間) = (問題難易度)の整数倍
 - $0 \leq (\text{作業時間}) \leq (\text{作業可能時間})$
- 担当者になる条件
 - 作業時間最小の人
 - 一人に決まらなければ、問題難易度の小さい人
 - それでも決まらなければ、 n 番目の人

ヒント

- 嘘だとばれる申請は誰も行わない
 - 嘘だとばれない申請が必ず存在
 - (問題難易度) > (作業可能時間) のときは、**0を報告**

解法1

- 問題文通りにやる
- 各自の申請時間を順に求める

解法2

- 全員が**最大の作業時間**を申請したとみなせる
 - 「現在の作業時間最小が誰なのか」が分かればよい
 - 個人 i の最大の作業時間: $m / a_i * a_i$
- 作業時間最小で、問題難易度最小の人を探す
 - 一人だけの場合は、その人が担当者
 - 二人以上いた場合は、 n が担当者

疑似コード

// 最大の作業時間決定

```
for (i=0; i<n; i++) t[i] = m / a[i] * a[i];
```

// 作業時間最小で、難易度の小さい人を探す

```
for (i=0; i<n; i++) {  
    if (t[i] < min) min = t[i], res = i;  
    else if (t[i] == min && t[i] < min) res = i;  
}
```

結果

- First Accept
 - Komakiさん : 16分
- 53 Accept
 - 問題修正のため、WAは無効扱い
 - Segmentation Faultした方、ごめんなさい